

# 社会資本総合整備計画 事後評価

平成30年6月  
愛知県稲沢市

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成 30年 6月 29日

計画の名称	40 地域活性化を促進する道路の整備									
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	稲沢市							
計画の目標	市民や企業の日常活動における環境改善及び広域的な施設の利便性の向上により、市内の活性化を促進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路及び生活道路の安全性の向上（交通事故件数の減少）</li> <li>物流の円滑化による企業の事業環境の改善（事業者アンケートによる問題指摘の解消）</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値						
			当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考				
事業実施箇所における事故件数の減少 (100-((目標年次直近5年の交通事故件数/従前直近5年の交通事故件数)*100))			0%	5%	10%					
事業者アンケートによる道路の問題指摘の解消 (アンケートで、市内で事業を営む上での問題として「事業所周辺や幹線道路にいたる道路の不足、幅員が狭い」を指摘する回答割合)			48%		40%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,924 百万円	A	1,904 百万円	B	0 百万円	C	20 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	1.0%

事後評価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画実施主体である稲沢市土木課において評価を実施し、結果の取りまとめを行った。	平成30年2月 公表の方法 稲沢市ホームページ上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 地方道路整備事業											事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28			
40-A1-1	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(1)00-007号線	歩道改良等 L=2.0km	稲沢市						416		
40-A1-2	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(他)木曾川堤防線	歩道設置等 L=1.09km	稲沢市						0		
40-A1-3	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(1)00-144号線	歩道設置 L=0.22km	稲沢市						159		
40-A1-4	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	修繕	(1)00-150号線ほか106路線	車道舗装 L=22km	稲沢市						988	策定済	
40-A1-5	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(1)00-151号線	交差点改良 L=0.19km	稲沢市						127		
40-A1-6	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(1)H220号線	歩道設置 L=0.22km	稲沢市						65		
40-A1-7	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(1)00-128号線	交差点改良 L=0.11km	稲沢市						144		
40-A1-8	道路	一般	稲沢市	直接	-	市町村道	交安	(1)00-012号線	交差点改良 L=0.23km	稲沢市						5		
小計（道路事業）																1,904		

B 関連社会資本整備事業											事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28					
合計																0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業											事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28				
40-C-1	道路	一般	稲沢市	直接	-	点検	道路付属物点検	道路標識、反射鏡の点検	稲沢市						16			
40-C-2	道路	一般	稲沢市	直接	-	点検	擁壁点検	地下道等の擁壁点検	稲沢市						4			
合計																20		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
40-C-1	稲沢市内の道路付属物(標識、反射鏡)について老朽化等の点検を行うことで、安全性・信頼性を確保するとともに、効果的・効率的な維持管理対策を行う。	
40-C-2	稲沢市内の道路擁壁(車道、人道地下道等)について老朽化等の点検を行うことで、安全性・信頼性を確保するとともに、効果的・効率的な維持管理対策を行う。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・歩道設置や交差点改良等により、安全な歩行空間が整備されたことにより、交通事故件数が減少した
- ・歩道設置や交差点改良を実施したが、事業所周辺の道路や幹線道路までのアクセス道の整備が不足しているという回答が12.5%増加した

II 定量的指標の達成状況	指標① 交通事故件数の減少	最終目標値	10 %	目標値と実績値に差が出た要因	市内の複数の箇所では歩道整備や交差点改良が行われたことにより、走行中の視界が改善されたうえ安全な歩行空間が整備され安全性が増したため、各道路での交通事故件数が減少した。
		最終実績値	66 %		
	指標② 事業者アンケートによる道路の問題指摘の解消	最終目標値	40 %	目標値と実績値に差が出た要因	市内の複数の道路で車道舗装整備や交差点改良が行われたが、市全域としての整備が不十分と考えられるため、依然として事業所周辺の幹線道路等に至る道路が不足しているという意向が強い結果となっている。
		最終実績値	55.9 %		
	—	最終目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	—		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

- ・道路付属物、擁壁点検の実施により道路構造物の安全性・信頼性が確保された。また、点検結果を活用することにより、道路構造物の効果的・効率的な維持管理を図ることが可能となった。

3. 特記事項 (今後の方針等)

- ・事業所周辺の道路や幹線道路に至る道路の不足がなお問題視されているため、引き続き幹線道路等の整備を継続的に進めるとともに、市内の道路ネットワーク等について検討する。
- ・事業者アンケートで新たな課題として挙げられた、道路冠水に対する対策や踏切部の立体交差化による渋滞改善等について、喫緊の課題として検討する。
- ・歩行者空間の充実により交通事故件数を減らすため、市内の危険箇所の歩道整備を検討する。